

ホームページでいただいたご意見とその対応

番号	分野	意見	対応
1	アクセス	立地的に車のアクセスが好条件だが、対象としないのか。	青葉区では、徒歩や公共交通機関を利用した移動を推奨していることから、基本構想は、最寄り駅やバス停からの徒歩によるアクセスを前提として策定し、車でのアクセスを対象としていません。
2	アクセス	他の公園施設等からのアクセスを考慮すべきではないか。	青葉区では、徒歩や公共交通機関を利用した移動を推奨していることから、基本構想は、最寄り駅やバス停からの徒歩によるアクセスを前提として策定しましたが、谷本公園の周辺にある公園、多目的広場やドッグラン等を参考として表示しました。
3	アクセス	隣接して、鶴見川にサイクリングロードがあるが、こちらからのアクセスを考慮すべきではないか(歩行者が多い。景観も楽しめる)。	青葉区では、徒歩や公共交通機関を利用した移動を推奨していることから、基本構想は、最寄り駅やバス停からの徒歩によるアクセスを前提として策定しましたが、鶴見川のサイクリングロードを参考として表示しました。
4	整備	公園の対象とする市民の年齢層によって、道路整備の内容が異なるのではないか。	谷本公園には、子どもの遊び場やニュースポーツ、球技場等が整備されることから、基本構想では、特定の年齢層を対象としたものではなく、あらゆる年齢層を対象として策定しています。
5	整備	鶴見川に架かる水管橋は狭くて危険なため、新しい橋を架けなおしてほしい。	現在、水管橋の架替について、工事を進めています。
6	整備	谷本公園脇の鶴見川沿いの道路を公園南側エリアまで一般車両通行不可にし、親水空間を整備してほしい。	関係機関との調整が必要なため、アイデアとして今後の参考とさせていただきます。
7	整備	市が尾駅周辺の車止めは、現状のままでも機能的に大きな問題はないと思います。	車止めが既に外れてしまっている箇所が多数あることや、歩行者が低い車止めにつまずくことに配慮して、整備案として掲載しています。
8	整備	東急線の資材置き場を利用し、せせらぎ緑道を整備してほしい。	ご指摘の箇所は、東急電鉄が資材置き場として利用しているため、現道部分に歩行帯を設置することを整備案として掲載しています。
9	整備	横浜環状北西線の工事の際、再度工事をする事が無いように、計画的に整備してほしい。	現在の東名高速横浜青葉インターチェンジに北西線を接続する「(仮称)横浜青葉インターチェンジ・ジャンクション」は、谷本公園よりも南側に整備する予定であると横浜市道路局が公表しています。
10	名称	プロムナードという言葉は、外来語のために都市化された施設の無味乾燥なイメージが強い。老若男女に親しみ、田園都市に相応しい呼称にしてはどうか。	市が尾駅から谷本公園までのルート上に「市が尾彫刻のプロムナード」が含まれるため、統一性をもたせるために、「プロムナード」という言葉を使用しています。